

1. 件 名：新規制基準適合性審査への対応状況等について
2. 日 時：令和4年2月21日 14時00分～16時30分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者（※TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全規制調整官※、天野安全管理調査官※、忠内安全管理調査官※、
江崎企画調査官、角谷管理官補佐、建部主任安全審査官※、
藤原主任安全審査官、宮本主任安全審査官※、伊藤安全審査官、
土居安全審査専門職※

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他14名※

5. 要 旨

（1）北海道電力株式会社から、新規制基準適合性審査への対応状況等について説明があった。

（2）これに対し、原子力規制庁は、以下の点について指摘等を行った。

- 耐震・耐津波設計に係る解析を実施している期間において、耐震・耐津波設計を除くプラント側審査の説明を集中的に実施するとしているが、審査のクリティカル工程への影響の度合いに応じて全体工程を合理的かつ効率的に進めるための検討がなされていないと考えられることから、説明スケジュールを検討及び整理の上、説明すること。
- 耐震設計の審査資料の検討状況において、「先行審査を踏まえて精査中」等としているものがあるが、「基準地震動の策定」時期等の今回示された遅延理由以外に資料作成が遅れている理由があれば整理して説明すること。

6. その他

提出資料：

- （1）【本日の説明主旨と資料構成】
- （2）泊発電所3号炉 プラント側審査 耐震設計方針及び耐津波設計方針を除く主要な説明項目及び論点
- （3）審査資料の作成状況
- （4）説明スケジュール
- （5）泊発電所3号炉のプラント側審査の説明の進め方について

以上